

(様式3)第1版  
山形大学創薬研究拠点 御中

年 月 日

### 化合物ライブラリースクリーニング結果報告書

貴拠点から提供を受けた化合物ライブラリーを利用した成果につきまして、化合物ライブラリー提供指針に従い、下記の通り報告いたします。

1 主任研究者

研究者名	_____	役職	_____
機関名	_____	部署	_____
住所	_____	郵便番号	_____
電話番号	_____	FAX番号	_____
E-mailアドレス			

2 提供化合物ライブラリー

3 研究成果の概要(必要に応じて図表も挿入してください)

【目的】

【方法】

【結果・考察】

【結論】

#### 4 成果公表実績(適宜、記入欄を追加してください)

□ 学会発表

演題名 \_\_\_\_\_

発表者名 \_\_\_\_\_

学会名 \_\_\_\_\_

開催日 \_\_\_\_\_

□ 論文・総説投稿

タイトル \_\_\_\_\_

著者名 \_\_\_\_\_

雑誌名 \_\_\_\_\_

投稿予定日 \_\_\_\_\_

□ 特許出願

件名 \_\_\_\_\_

発明者 \_\_\_\_\_

出願人 \_\_\_\_\_

出願予定日 \_\_\_\_\_

□ その他

公表形式 \_\_\_\_\_

公表者名 \_\_\_\_\_

公表日 \_\_\_\_\_

#### 5 研究責任者

所在地 \_\_\_\_\_

機関名 \_\_\_\_\_

役職 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

#### 6 確認事項

1) 本報告は原則としてYU-COE (S) の年次報告に用いられる(学外への公表はしない)を了解する。

2) 化合物名や構造式等は掲載せず、化合物サンプルID等を用いてヒット化合物が同定できないようにすることを了解する。

3) 報告内容の全責任は報告者にあることを了解する。

4) 成果公表日以降、拠点がホームページや冊子等により、広く一般公開されることを了解する。

5) 貴拠点が運営改善の参考のために行う調査等に協力することを了解する。

6) 公表成果創出に対する貢献度に応じた支援担当者との共著・共願または担当者への謝辞(貢献がない場合にはこれらは当然不要)の他に、化合物サンプル提供の補助事業である「YU-COE(山形大学先進的研究拠点)(S)山形大学創薬研究拠点」への謝辞を記載することを了解する。

英文の場合: This research was (partially) supported by the YU-COE (Yamagata University Advanced Research Center Support Project) (S) Yamagata University Drug Discovery Research Center.